


■ 今朝の結論



米インフレ再燃で利下げ期待が後退。
ハイテク・半導体株の急落が
市場全体を押し下げた波乱の1日。

「米PPIの上振れにより利下げが遠のくとの観測が広がり、米国市場は大きく下落しました。とくに成長を牽引してきたAI・半導体セクターへの売りが目立っています。円相場は158円台後半まで円安が進行中です。」

米国主要指数の結果

NYダウ

49,526.17

▼ 537.29 (-1.07%)

S&P 500

5,246.30

▼ 65.40 (-1.23%)

NASDAQ

16,340.50

▼ 280.15 (-1.68%)

ナスダック100

17,850.20

▼ 310.45 (-1.71%)

SOX指数

4,820.10

▼ 145.60 (-2.93%)



「全指数が連れ安となる展開。とくにエヌビディア決算を前にしたポジション調整も重なり、ナスダックとSOX指数の下げ圧力が警戒される結果となりました。」

■ なぜ動いたのか？背景と要因分析 [マクロ要因]

経済指標

- ・米PPI（生産者物価指数）の上振れ
- ・米小売売上高の底堅さ（景気懸念の後退）



金利動向

- ・インフレ高止まり懸念
- ・FRBの「利下げ後ずれ観測」が急拡大



為替への波及

- ・日米金利差の意識
- ・ドル高・円安圧力が加速

→ 【現在：1ドル=158.78円】



「強い経済指標が『良いニュースは悪いニュース』として機能しました。インフレ懸念から金利が上昇し、株式市場の重しとなる典型的なマクロショックです。」

なぜ動いたのか？ [セクター・個別株要因]

成長株への逆風 (Growth)

【背景】米インフレ×金利上昇によるハイテク売り

【影響】AI・半導体関連への売り波及

【主な影響銘柄】東京エレクトロン、アドバンテスト、レーザーテック

バリュー株への回帰 (Value)

【背景】「成長からバリューへ」選別物色が加速

【影響】利ザヤ拡大期待と割安感

【主な影響銘柄】三井住友FG、三菱UFJ、オリックス



「金利上昇を嫌気して半導体が売られる一方、金融株などのバリュー株へ資金が逃避しています。決算期の業績修正が、銘柄間の明暗をさらにクッキリと分けています。」

今日の日本市場への影響と見通し



「日経平均は大きく下窓を開けてのスタートが予想されます。本日は『半導体の下げ幅』と『円安による輸出・・・バリュー株の下支え』の綱引き状態。全体相場よりも、決算を見極めた個別株の選別が鍵となります。」

■ 今日の注目イベントとまとめ

● **【15:00】**

イギリス：3月 ILO失業率

● **【23:00】**

アメリカ：4月 中古住宅販売成約指数（予想1.6%）

● **【明日15:00】**

イギリス：4月 消費者物価指数（CPI）



「今夜は米国の中古住宅販売データに注目です。インフレ動向を占う重要指標が続きますので、引き続き金利と為替の神経質な動きにご注意ください。

毎朝、通勤のスキマ時間で市場の『結論』をお届けしています。明日の解説も見逃さないよう、ぜひチャンネル登録をお願いします。それでは、今日も良い一日を！」